

# 「治療」と「仕事」の両立支援セミナー を開催しました

2月4日（水）、周南総合庁舎 さくらホールにおいて『「治療」と「仕事」の両立支援セミナー』を開催しました。本セミナーは「山口県地域両立支援推進チーム」の取組の一環として開催するものであり、「治療と仕事の両立支援」をテーマに、4つの演題で実施しました。



第1に、山口大学大学院中川伸教授による「メンタルヘルス不調者に対する治療と仕事の両立支援」の講演では、メンタルヘルス不調と就労継続の課題について、健康の捉え方やスティグマの影響、社会モデルの重要性が解説されました。精神疾患の増加や経済損失の大きさが示され、支援の必要性が共有されました。

第2に、がんに向き合う山口の団体ポポメリー代表藤本育栄氏の「がん経験者による治療と仕事の体験談」では、がん患者としての経験を持つ藤本氏から、診断時の戸惑いや、家族の支え、働きながら治療を続ける上での体験談が語られました。がんは誰にでも起こり得ること、正しい知識と検診の重要性、職場での理解と支援体制づくりの必要性が伝えられました。



第3に、学校法人YIC学院総合支援室長山下清可氏の「企業における治療と仕事の両立支援の取組」では、企業における実際の取組事例が紹介されました。YIC学院では、治療と仕事の両立を支えるため、総合支援室を独立組織として設置し、看護師を含む体制で教職員の健康相談に対応していることについて説明がありました。また、定期面談や復職支援、主治医・産業医との連携により個別に配慮した勤務調整を行い、安心して働き続けられる環境づくりに取り組んでいることについても説明がありました。

最後に、山口労働局健康安全課からは「治療と仕事の両立支援推進の法制化」として、令和8年4月1日から、治療と仕事の両立支援を行うことが事業者の努力義務となることや、新たに作られる指針の内容について説明を行いました。

山口労働局では、治療と仕事の両立支援が自然に根づく職場環境づくりに向け、指針の周知、事業場への支援に積極的に取り組んでいきます。

## 山口県地域両立支援推進チームについて

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会 中国・四国支部、  
（一社）日本産業カウンセラー協会 中国支部、日本労働組合総連合会山口県連合会、  
（一社）山口県医師会、山口県医療ソーシャルワーカー協会、  
山口県がん診療連携協議会 相談支援部会、（独）労働者健康安全機構、山口県経営者協会、  
山口県社会保険労務士会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、  
（一社）山口県労働基準協会、山口県、山口労働局



厚生労働省山口労働局